

平成27年度 高松市伝統的ものづくり振興事業（案）

1 人材育成県外派遣事業 【H26年度実施内容を拡充継続】

H26年度の金沢市への人材育成派遣事業の内容をもとに、期間や交通手段等を見直し、ハード事業よりもソフト事業の「人」をメインにした活動内容とする。「人脈」、「しくみ・しかけ」など新しい刺激を得て、産業につながるヒントが得られる事業に改善し、継続する。

<内訳>

金沢市への派遣 【2泊3日×7名（うち1名は販売関係者等）】

貸切バス + 宿泊 + 日当等

2 親子体験教室 【H26年度実施内容を拡充継続】

H26年度の親子体験教室は非常に好評であり、定員枠を超え、お断りする件数も多かったため、各コース2回実施し、併せてコースを増やすことで全体枠を拡大する。実施時期については、H26年度同様、夏休み期間中とする。参加者の応募方法については、他の高松市の夏休み体験事業や市内で実施しているワークショップ等（栗林庵等）をヒアリングし、検討する。

H26年度実施内容

【親子15組ずつ×4コース 計45組】

7月26日 <場所:石の民俗資料館ほか>

・石のまちめぐりと石あかり体験 【H26実績:160,000円】

8月11日 <場所:高松市役所13階大会議室>

・菓子木型を使った和三盆・練りきり体験 【H26実績:40,500円】

・高松張子の絵付け体験 【H26実績:52,500円】

・讃岐かがり手まり体験(4年生以上) 【H26実績:52,500円】

<内訳>

◎ コースの検討(6団体×2回)

①菓子木型を使った和三盆づくり体験

②高松張子の絵付け体験

③讃岐かがり手まりづくり体験

新規コース(案)

④讃岐のり染め体験→コースター

⑤盆栽体験→苔玉づくり

⑥庵治石体験→石あかり・3Dモザイク等



3 学校巡回教室 【H26年度実施内容を拡充継続】

H26年度は、漆器(キンマパネル・後藤盆)及び庵治石(石あかり・3Dモザイク)の制作体験コースを実施。当初予想を超える申し込み数に対応するため、委託先と調整、予算流用し、事業の拡大を図るほか実施校等の調整を行った。学校巡回事業は、講師や道具の手配が必要となるため、受入れが可能な事業が限られるという課題がある。H27年度は、コースを1つ増やし、受け入れ枠を拡大する。

H26年度実施内容

- ・漆器コース 10校 290名【H26実績:約70万円】
(キンマパネル245名 ・ 後藤盆45名)
- ・庵治石コース 5校 130名【H26実績:約20万円】



<内訳>

◎ コース検討(3コース)

- ①漆器コース
- ②庵治石コース
- 新規コース(案)
- ③「未定」コース



◎ 4 セミナーの開催 【新規(形変え)】

H26開催したシンポジウムを形変えし、事業者向けのセミナーを開催する。

<内容>

販路や見せ方等「出口」をテーマにバイヤー等を招聘しセミナーを開催。その後、希望者のみ商談会の形へ移行したいと考えている。

<場所・規模>

定員を40名程度の規模で検討。

<時期・期間>

準備期間等含め、秋以降で検討。



◎ 5 ブランド化事業等 【新規】

案1: 県外等展示会等出展負担

販路開拓の分野への支援を検討する。事業者では、実現できない部分や複数の事業者が共同で高松ブースとして出展するなどの方法も含めた展示会等(県外・海外)に係る出展の補助等を行う。

・ミラノ万博盆栽事業出展負担金

H27年度開催されるミラノ万博の香川県ブース(8/29-9/1)において、盆栽の出展・デモンストレーションに係る費用の一部を負担する。

・県外・海外展示会等の共同出展負担金

高松の伝統的ものづくりブース(仮)として共同出展希望者を募集し、選考する。選ばれた事業者の出展に係る経費についてブース装飾を含めプロポーザル委託を行い、出展支援を行う。

例) ジャパンエキスポ・インテリアライフスタイル・インターナショナルギフトショー 等

案2: 「〇〇×伝統的ものづくり」をコンセプトとしたコンペ事業

伝統的ものづくりを取り巻く環境は厳しさを増しており、現代の生活に結び付く新たな価値を創造し、魅力を高める必要がある。そこで伝統的ものづくりを単体ではなく、「〇〇」という何かを掛け合わせることによって、消費者や関係者等を裾野を広げていくこと、新たな価値を生み出すことが可能となる。

(例) 食×伝統的ものづくり ・ 大道芸×伝統的ものづくり ・ メディアアート×伝統的ものづくり ・ デザイン×伝統的ものづくり ・ プラモデル×伝統的ものづくり ・ 地域のまつり×伝統的ものづくり

⇒ 伝統的ものづくりのイメージに代表される「すごい技術・きれい・古い」というイメージを払拭し、「楽しさ・面白さ・新しさ」イメージとして持ってもらえるような斬新で効果的な事業プランをコンペ方式で選考し、選考されたプランに対し、高松市が補助金交付を行う。

★ 今後検討していきたい事業**(案) 伝統的ものづくり技術継承支援事業****・技術を学ぶための事業**

後継者育成が深刻な課題になっている。様々な分野で機械化が進み、伝統的な技術が継承され、その技術を生かせる機会が少なくなっている。そこで、技術を学ぶための事業(技術研究・修復事業等)に参加する費用を助成する。

・技術継承収集事業

伝統的ものづくりの事業継承が難しくなっている状況下、製品の見本・道具・技法の収集などを行い、保存する。知的資産を保存することにより、今後新たな事業者への情報提供や技術継承へ活用が可能となる。そこで、作り手の情報・技術・道具を映像に残し、ビジュアル化することで、新たな物語の提供が可能となる。最終的にはすべての事業について必要と考えるが、従事者人口の少ない事業から優先的にはじめる必要があると考える。

(案) 伝統的ものづくり体験の観光コース提案事業

現在、高松市の観光ページのHPリニューアルを検討している。その中で「プチ旅」というテーマで半日コースや1日コースなど伝統的ものづくりだけでなく、その他分野の体験型観光コース掲載を検討している。創造都市推進局内での連携やプロジェクトチームの活用をし、伝統的ものづくり体験等産業観光コースの設定のため、受け入れ態勢等ヒアリングを行い具体化する。